

Kaitai

私たちのアイデンティティ 協会の取り組み

令和元年度

TOPIC

災害時における建築物等の 解体・撤去等に関する協定締結

(一社)石川県構造物解体協会の8つの強み

コラム KAITAIYA's View

協会員紹介

一般社団法人
石川県構造物解体協会
会報

創刊号
2020.6



私たちのアイデンティティ

一般社団法人

石川県構造物解体協会について

本協会は、建設産業の一翼を担う専門工事業者として、適正な解体工事の施工や、解体工事から発生する廃棄物の適正な処理等に関する調査研究及び人材育成等の推進と、さらに、解体工事における事故または災害の防止、有害物の適正処理、不法投棄の防止及び再資源化の促進を図り、国土の利用、開発、保全に伴う資源循環型社会を構築するとともに、地球環境の保全及び自然環境の保護等に寄与することを目的としています。

協会のロゴマークは、石川県を重機にみたてて構造物の解体作業をイラスト化しました。

全体を囲うリングは協会の団結を表現するとともに、廃棄物の適正処理（リサイクル）をイメージしています。メインカラーのブルーは「日本海と豊かな緑、清い水、澄んだ空気」という恵まれた自然を表しています。

公益社団法人全国解体工事業連合会のロゴマークをモチーフに、石川県独自の要素を取り入れて作成しました。



一般社団法人
石川県構造物解体協会

協会概要

平成10年に、県内の解体業者相互の親睦を図るとともに業界の向上発展を目的として、石川県構造物解体協会（任意団体）が発足、会員9社からスタートされました。さらに、平成28年6月には建設業法が改正され、業種区分に「解体工事業」が新設されたことで、より強固な組織運営と協会の躍進を図るため、団体を法人化し「一般社団法人石川県構造物解体協会」として平成29年6月に設立、現在では、皆様の深いご理解とご協力のもと協会員は26社に、賛助会員も順調に拡大されてきました。

今後も様々な事業を通して、解体工事業の健全な発展と社会的な地位の向上を図り、地域環境の保全と資源循環型社会の構築を推進します。

名	称	一般社団法人 石川県構造物解体協会
設	立	2017（平成29）年6月7日
会	員	会員26社、賛助会員36社
代	表	者 会長 今村 秀憲
役	員	11名
主 な 事 業 内 容		1) 解体工事に係る調査研究、技術開発及び啓発普及に関する事業 2) 解体工事従事者の教育・研修及び資格認定に関する事業 3) 解体工事から発生する廃棄物の再資源化及び適正処理の推進に関する事業 4) 正社員への情報伝達及び情報交換等の共益的な事業 5) 正社員の福利厚生のための共益的な事業 6) その他本協会の目的を達成するために必要な事業

会長あいさつ

私たち（一社）石川県構造物解体協会は、建設産業の一翼を担う専門工事業者として解体工事業界の健全な発展を図り、公共の福祉の増進に寄与することを目的として設立されました。

その目的を達成するため、経営および技術の改善ならびに近代化、解体工事業に関する法制および施策の調査研究を進めるとともに、国土交通大臣が指定する技術管理者資格である「解体工事施工技士」を育成し施工技術の向上に努めております。

近年、私たちを取り巻く環境は、大量生産・大量消費型の生活により危機的な状況になりつつあります。そのため資源循環型社会の構築が急がれ、関係法令等も整備されてきました。平成14年には解体工事業界に関係する「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（建設リサイクル法）も施行され、さらに平成28年には建設業法の改正で、業種区分

に「解体工事業」が新設され、解体工事について、事故の防止や、工事の質を確保するために、必要な実務経験や国家資格を持つ技術者を配置し、適切に施工管理を行うことが求められるようになりました。

今後とも、協会が主体となって運営する様々な事業を通して、解体工事業の健全な発展と社会的な地位の向上を図り、地域環境の保全と資源循環型社会の構築を推進するべく研鑽を重ねてまいりますので、一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

（一社）石川県構造物解体協会
会長 今村 秀憲



協会沿革

1998（平成10）年 3月 20日	●	石川県構造物解体協会設立 協会員：9社 代表 今村 照男
2003（平成15）年 5月	●	第5回定期通常総会開催 協会員：24社 賛助会員：4社
2008（平成20）年 5月	●	第10回定期通常総会開催 協会員：25社 賛助会員：21社
2016（平成28）年 5月	●	第18回定期通常総会開催 協会員：24社 賛助会員：18社
2017（平成29）年 6月 7日	●	一般社団法人石川県構造物解体協会設立 協会員：24社 賛助会員：33社 会長 今村 秀憲
2018（平成30）年 5月	●	第20回定期通常総会開催 協会員：25社 賛助会員：36社
2019（平成31）年 5月	●	第21回定期通常総会開催 協会員：26社 賛助会員：37社
2020（令和2）年 6月	●	第22回定期通常総会開催 協会員：26社 賛助会員：38社

役員一覧

会 長	今村 秀憲	（株）金沢研解体業	代表取締役	理 事	米田 秀次	北陸研開発（株）	代表取締役会長
副 会 長	宗守 重泰	（株）宗重商店	代表取締役	理 事	松本 克輝	（株）松本解体工業	代表取締役社長
副 会 長	南 征和	誠和建設（株）	代表	理 事	中谷 和浩	中谷商事（株）	代表取締役
副 会 長	守田 幸則	守田工業（株）	代表	理 事	一松 重喜	一松建設（株）	代表取締役
相 談 役	田中 時雄	建伸工業（株）	代表相談役	監 事	大山 光則	（有）大山商店	代表取締役社長
専務理事	毎田 健	クリーンリサイクル（株）	代表取締役	監 事	堀田 和彦	（株）トオカイ・ホリタ	代表取締役

協会の取り組み

令和元年度事業

INITIATIVES AND ACTIVITIES

令和元年5月31日

第21回定期通常総会

場所：KKRホテル金沢

会員23名、賛助会員32名、事務局2名 合計57名参加

事業報告・決算及び事業計画・予算の他、役員改正も含め、ご審議いただき可決され滞りなく終了しました。

引続き同会場にて懇親会が開催され、協会員各社22名、賛助会員32名参加のもと、親睦を深める有意義な時間を過ごすことができました。



令和元年6月7日

(公社)全国解体工事業団体連合会

第8回通常総会が岐阜県の長良川国際会議場で開催され、今村会長のほか役員3名事務局1名合計5名が参加しました。(株)宗重商店松嶋利幸様、(株)松本解体工業石田明久様が、会長顕彰を受賞されました。



令和元年6月24日

石川県へ公共事業の建物解体工事に関する要望書提出

場所：県土木部会議室

対応者：竹俣土木部長、鈴木技監ほか2名

協会より下沢顧問（県議）、田中相談役をはじめ、今村会長ほか役員4名が参加し、公共事業に関する建物解体工事について、引続き解体工事専門業者に分離発注してほしい旨の要望書を提出しました。

令和元年6月28日

登録解体工事講習（全解工連主催）

場所：（一社）石川県トラック協会

135名が受講

令和元年8月21日

工事技術講習会

場所：石川県産業展示館3号館

参加者：24社 45名

石川県土木部営繕課より講師を招いて総合評価方式の運用基準にあたっての変更事項や、建設工事に係る最低制限価格等の算定方法の改正についての他、公共工事における解体工事についての講習会を開催しました。



令和元年9月2日

災害時における建築物等の解体・撤去等に関する協定締結式

場所：石川県庁

※詳細5Pへ

令和元年9月17日

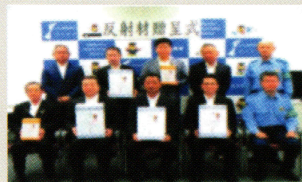
反射板贈呈式

場所：石川県警察本部庁舎 会議室

出席者：下沢顧問（県議）をはじめ、今村会長ほか
役員5名事務局1名 合計8名

本協会では、社会貢献の一環として、夜間の歩行者の交通事故防止に寄与するため、反射板付き靴紐600個及び反射シール1,100個を（一財）石川県交通安全協会に寄贈しました。

平成23年から実施しており、今回で9回目となります。県安協、林専務理事と県警本部、坂尻交通部長よりお礼の言葉とご挨拶をいただきました。



令和元年9月19日

第2回親睦ゴルフコンペ

場所：ツインフィールズ

参加者：下沢顧問（県議）ほか、
会員17名、賛助会員21名、合計39名

日頃より、協会事業に対してご理解ご協力を頂いている皆様への感謝とともに、より一層の親睦を図ることができました。



令和元年9～11月

第20回解体工事施工技術講習（2日間）

国土交通省令に基づく登録講習で、建設リサイクル法、その他の関連法令等に的確に対応できる解体工事施工技術を確保することを目的として、全工連が実施。

令和元年12月1日

第27回解体工事施工技士試験

全国14箇所にて開催され、当協会員も受講

令和2年2月10日

第11回安全大会

場所：金沢東急ホテル

参加者：会員31名、賛助会員26名、事務局1名
合計58名

石川県の「県政出前講座」を活用して、危機対策課と廃棄物対策課より2名の講師を派遣していただき、「地震・津波・風水害などの自然災害対策」と「ごみ」の話～廃棄物の適正処理について～の講演を実施しました。また、会員を代表して守田誠（守田工業㈱）の安全宣言にて閉会となりました。



災害時における建築物等の解体・撤去等に関する協定締結

令和元年9月3日（火）3時より、石川県庁にて「災害時における建築物等の解体・撤去等に関する協定」を締結しました。

協定の内容は、迅速な災害復旧と被災者支援につなげるため、本協会が、災害廃棄物となった建築物等の解体・撤去作業や建築物等の消化活動を円滑に行えるよう外壁の破壊作業を実施するというものです。

締結式には、顧問の下沢県議が同席し、今村会長ほか役員6名事務局1名が出席、県からは伊藤危機管理監ほか2名が出席し、協会代表の今村会長が締結書に署名し、県の伊藤危機管理監と協定書を取り交わしました。

平成19年の能登半島地震の時には、廃棄物の撤去など協会が一体となって応援させていただいた実績があり、法人化された今、県の要請を受ければ協会が一丸となって迅速に行動し早期復旧に尽力を注ぎ、地域住民の安全・安心の確保と県の地域防災力の強化に繋がっていきたいと思っております。県では、災害に備えて民間との連携を進めており、医療・救助、物資調達、応急復旧活動、住宅・生活支援など10分野で143件の協定を結んでいます。



署名する今村会長



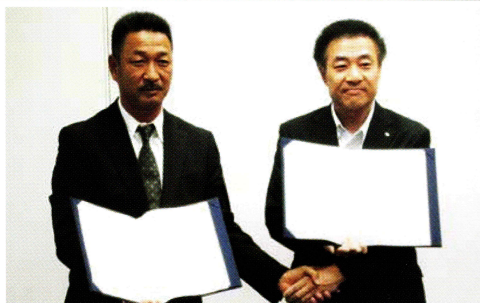
今村会長挨拶



協会出席者



懇談会



協定を締結し握手する今村会長と伊藤管理監
この日、県
協定の内容
は、災害時に
同協会会員企
業が災害廃棄
物となった建
築物等を解体
・撤去するほ
か、建築物等
の消火活動を
円滑にするた
め外壁の破壊
を行うという
もの。

協定の内容
は、災害時に
同協会会員企
業が災害廃棄
物となった建
築物等を解体
・撤去するほ
か、建築物等
の消火活動を
円滑にするた
め外壁の破壊
を行うという
もの。

石川県構造物解体協会
（今村秀憲会長）は2日、
石川県と「災害時におけ
る建築物等の解体・撤去
等に関する協定」を締結
した。

災害時の建築物解体・撤去など 石川県構造物解体協会が県と協定

解体業者の方々と協定を
結ぶことができたのは、
今後に向けて大変心強い
ことだ」とあいさつ。今
村会長が「能登半島地震
の時には、協会が一体と
なって応援に行かせてい
ただいた。一般社団法人
となり、地域に貢献でき
ることはないかと考え、
この協定締結に至ったこ
とをうれしく思う。これ
からも会員が一致団結
し、災害復旧と被災者支
援の役に立てよう頑張
りたい」とあいさつした。



集合写真

(一社)石川県構造物解体協会の 8 つの強み

Good Pint

1. 豊富な実績

県内の象徴（ランドマーク）となる建物をはじめ、リフォームによる部分解体まで、現場の大小にかかわらず様々な経験と多くの実績があります。

2. 関係法令遵守

関係する法令についての情報発信及び会員相互間での共有化と法令遵守に努めます。

3. 見積無料

機会をいただければ、各所様々なケースに合わせ、ニーズに合ったご提案と見積を無料でさせていただきます。

4. 簡潔明瞭な説明及び適正価格の提示

工事内容についてご納得されるまで、わかりやすく説明させていただきます、見積金額も同様に安心の適正価格を提示させていただいております。

5. 取り巻く環境や近隣への配慮

事前の近隣の方々へのご挨拶は勿論のこと、工事中は特に騒音、振動、粉塵等住民と環境への配慮に細心の注意を払います。

6. 廃棄物処理での分別・リサイクルの徹底

法令順守はもとより、お客様の機密事項の漏洩防止、廃棄物の情報提供、収集運搬、分別、3R（発生抑制-リデュース・再使用-リユース・再資源化-リサイクル）の徹底に努めます。

7. 空き家の相談

老朽化し危険な空き家などの相談窓口もしております。

8. 専門性が高いので安心・安全

解体工事全般について研鑽を重ねた専門性の高い経験豊富な人材が多く活躍していますので安心・安全な施工への取組みについて最も重要視しています。

コラム

KAITAIYA's View

2015年に空家対策特別措置法が施行されてから昨年の10月1日までの間で、倒壊などの恐れのある解体、修繕された空き家は全国で累計7,552件だったそうだ。（国交省集計）特定空家で所有者がわかった件数は24,000だったので、未だ17,000件ほど進んでいないようだ。

石川県の実績は特定空家が276件のうち所有者による除却が101件となっており、約36%の所有者が市町の除却補助制度を活用し実施した。また、行政代執行による除却が4件で、合計105件となっている。全国の割合から考えると石川県の除却率は5%ほど高くなっており、一定効果はあったものの、これからさらに特措法に基づいた除却推進への道はまだまだ問題点が多く、今後も空き家は増加傾向にあるので早めの解決策の促進を願うばかりである。

日頃から空き家にならないための準備と維持管理またはその後の活用について、現状の家主と相続される側双方により、行政の取組みや有効的な利用方法について充分理解した上で、討議しておくことが必要だと考える。

空き家活用についての情報や提案を所有者への助言と指導のなかに盛り込み充実させ、強制代執行までに至らないようにするには？

・どちらにしても解体されるのならば、強制代執行前に補助金等を活用して解体したほうが工事費は軽減され、さらに更地になった土地を売却へ繋げ自己負担を軽減することができるシステムの構築（解体業者や不動産、または行政等の窓口一本化）や、団体等を通してプラットフォームづくりが重要かと思われる。特に街中の空き家などは、十分に売却先の確保や土地の有効活用ができる位置にあるのであまり問題は無さそうだが、限界集落での空き家問題はより深刻と思われる。古民家再生など地域資産の有効活用も含め、移住者獲得まで繋げることができるのは夢のまた夢なのではないか。



石川県構造物解体協会 会員名簿

※50音順・敬称略

正会員

株式会社家村商店 七尾市万行町5-129-32 TEL.0767-53-2100 http://w2232.nsk.ne.jp/happy1/	北浜建設株式会社 加賀市新保町ワ46 TEL.0761-74-0526 http://www.kitahama-group.co.jp/	中谷商事株式会社 金沢市京町25番25号 TEL.076-252-6191 http://nakatani-syoji.co.jp/
一松建設株式会社 小松市幸町1丁目64番地 TEL.0761-23-1231/FAX.0761-23-1253	クリーンリサイクル株式会社 金沢市館町ヌ6番地 TEL.076-229-2961 http://www.life-recycle.co.jp/recycle/	永原建設株式会社 小松市二ツ梨町ヘ28-1 TEL.0761-43-2622/FAX.0761-43-1512
有限会社→松建設 羽咋市中川町ヘ65番地1 TEL.0767-26-2628/FAX.0767-26-3126	建伸工業株式会社 金沢市森戸2丁目29番5号 TEL.076-249-3256/FAX.076-249-3267	株式会社東山建材 金沢市小池町レ43番甲地 TEL.076-257-5691/FAX.076-257-6050
有限会社今村興業 かほく市大崎ル36番地 TEL.076-283-5338 http://imamura-g.com/	聖城運輸株式会社 加賀市永井町4-20-2 TEL.0761-73-8831/FAX.0761-73-8832	北陸研開発株式会社 金沢市湊3丁目8番6 TEL.076-239-4938 http://www.hokuhatsu.com/
株式会社エコマス かほく市高松乙2-181 TEL.076-281-3263 https://ecomusuk.jp/	誠和建設株式会社 小松市白江町ト10番地 TEL.0761-23-2301 http://seiwa-kensetsu.com/	有限会社前田重機建設 加賀市小坂町口25 TEL.0761-76-2791/FAX.0761-76-2711
株式会社大野産業 かほく市白尾ツ32番地 TEL.076-283-4480/FAX.076-283-5616	高藤建設工業株式会社 小松市戸津町ヨ29番地3 TEL.0761-65-3388/FAX.0761-65-1222	株式会社松本解体工業 金沢市湊2丁目120-1 TEL.076-238-6611/FAX.076-238-0184
有限会社大山商店 金沢市湊1丁目74番地 TEL.076-239-1046 http://www.ooyama-kaitai.jp/	有限会社TG建設 加賀市黒瀬町ネ213 TEL.0761-72-1803/FAX.0761-72-5788	株式会社宗重商店 金沢市畝田西1丁目112番地 TEL.076-266-6000 https://munejyu.com/
株式会社金沢研解体業 金沢市今昭町甲10番地 TEL.076-258-1284 http://www.haturi.jp/	株式会社トオカイ・ホリタ かほく市長柄町イ58番地1 TEL.076-281-0152/FAX.076-281-0163	守田工業株式会社 羽咋市宝達志水町小川式108番地 TEL.0767-28-3248 http://good.kaitai.biz/morita/
北川物産株式会社 金沢市大桑町チ155番地 TEL.076-243-3200 http://www.kitagawa-gp.co.jp/bussan/	株式会社徳政組 七尾市佐味町イ42-3 TEL.0767-52-4148/FAX.0767-52-4158	

賛助会員

株式会社RAC	株式会社こば建設	日本キャタピラー合同会社	北国リース株式会社
有限会社アサラ	コベルコ建機日本株式会社	ハリタ金属株式会社	有限会社堀川道路サービス
石川インペラ工業株式会社	コマツ石川株式会社	有限会社東潟土木	株式会社みさき
株式会社サセキ北陸	株式会社小松土木通商	株式会社ヒサヤス	三豊工業株式会社
有限会社エス・ケイ開発	株式会社三協機械	久安重機運輸株式会社	株式会社安田商店
株式会社エヌオーメタル	城西運輸機工株式会社	日立建機日本株式会社	株式会社やまと商事
オカダアイヨン株式会社	大松商事株式会社	双葉タイヤ株式会社	株式会社ヨシカワ
株式会社金沢柿田商店	有限会社高橋組	有限会社ブリヂストン三井タイヤサービス	米原商事株式会社
有限会社川商	千代田機電株式会社	北陸砂利工業株式会社	
有限会社川畑サービス	株式会社とむろ	北国建機販売株式会社	

事務局・お問い合わせ先

一般社団法人石川県構造物解体協会
〒920-0008 石川県金沢市今昭町甲10番地
株式会社金沢研解体業内
Tel.&Fax. 076-256-1444

<https://www.ishikawa-kaitai.com/>

事務局員 古林 一朗 (一社)石川県構造物解体協会
事務局員 寺口 明子 (株)金沢研解体業